

ストックマネジメント手法を踏まえた 下水道長寿命化計画策定に関する手引き(案)

《改定の背景・ポイント》

- 下水道事業におけるヒト、モノ、カネの適切なマネジメント＝アセットマネジメントの推進に向け、特に点検・調査や改築・修繕に係る施設（モノ）管理＝ストックマネジメントに主眼をおき、その普及を一層促進するための手引きとして作成。
- 長寿命化計画の策定にあたっては、ストックマネジメントの考え方に基づき、施設全体を俯瞰し全体最適を図る中で、計画的かつ効率的な策定が進められるよう、従前の「下水道施設のストックマネジメント手法に関する手引き（案）」と「下水道長寿命化支援制度に関する手引き（案）」を改定し、一つに統合。
- ストックマネジメントや下水道長寿命化支援制度の基本的な考え方については変更ないが、作業の効率化等を図る観点から、計画策定に関する考え方を明確化するとともに、新たな知見等を追加。

主な改定点は以下のとおり。

【ストックマネジメントの実施】

- 管理する施設数や施設情報の蓄積状況等、各自治体の状況を勘案しつつ、段階的にかつ速やかにストックマネジメントを導入することを提示。例えば、リスク評価による優先順位の設定方法について、簡易な方法（経過年数による方法等）から詳細な方法（健全率予測式による方法等）まで複数の方法を例示。
- ストックマネジメントの導入による説明責任（アカウンタビリティ）の向上について、記載を拡充。
- 改築・修繕計画の策定について、長期計画の策定と長期計画を踏まえた短期計画の策定手順を明確化し、記載を拡充。

【長寿命化計画の策定】

- 施設全体のストックマネジメントを踏まえて長寿命化計画を策定することを基本的な考え方として明確化。現状導入できるレベルから段階的にストックマネジメントを導入し、それを踏まえた長寿命化計画の策定を推進。
- 長寿命化計画の策定方法の効率化を図るため、以下の内容を追加
 - ・処理場・ポンプ場施設について、状態監視保全、時間計画保全、事後保全それぞれの管理方法の特性に応じた調査・診断方法等を明確化。
 - ・ストックマネジメントに基づく全体最適化（蓄積した維持管理情報を活用）を踏まえた改築時期や点検・調査項目、頻度の設定。
 - ・主要部品単位の調査が困難な設備の調査方法の例示
- 合理的な改築を推進するため、以下の内容を追加
 - ・省エネシステムの導入など、システムの一体的な更新を図れるよう、設備群の対策検討等について記載を拡充。
 - ・維持管理費の低減を考慮したLCC算定例等を追加。
- 管路施設について、マンホール蓋の調査方法、判定基準等を追加。